

柴田町新図書館基本設計概要（抜粋）

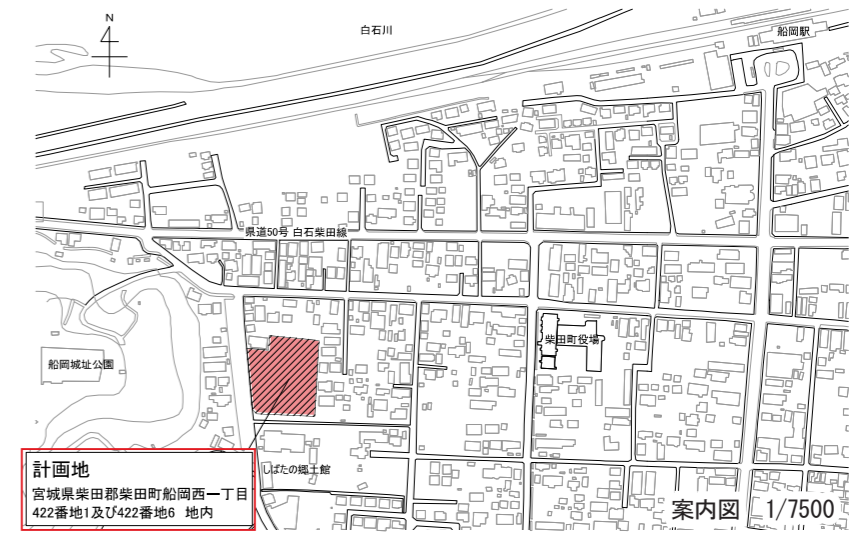
1-2 仕様概要書

敷地概要

敷地住所	宮城県柴田郡柴田町船岡西1丁目422番地1及び422番地6地内
敷地面積	4,869.58㎡ ※基本設計時の概算値
都市計画区域	都市計画区域内（非線引き都市計画区域）
用途地域	第一種住居地域
建ぺい率	60%
容積率	200%
防火地域	指定なし
その他	22条区域内

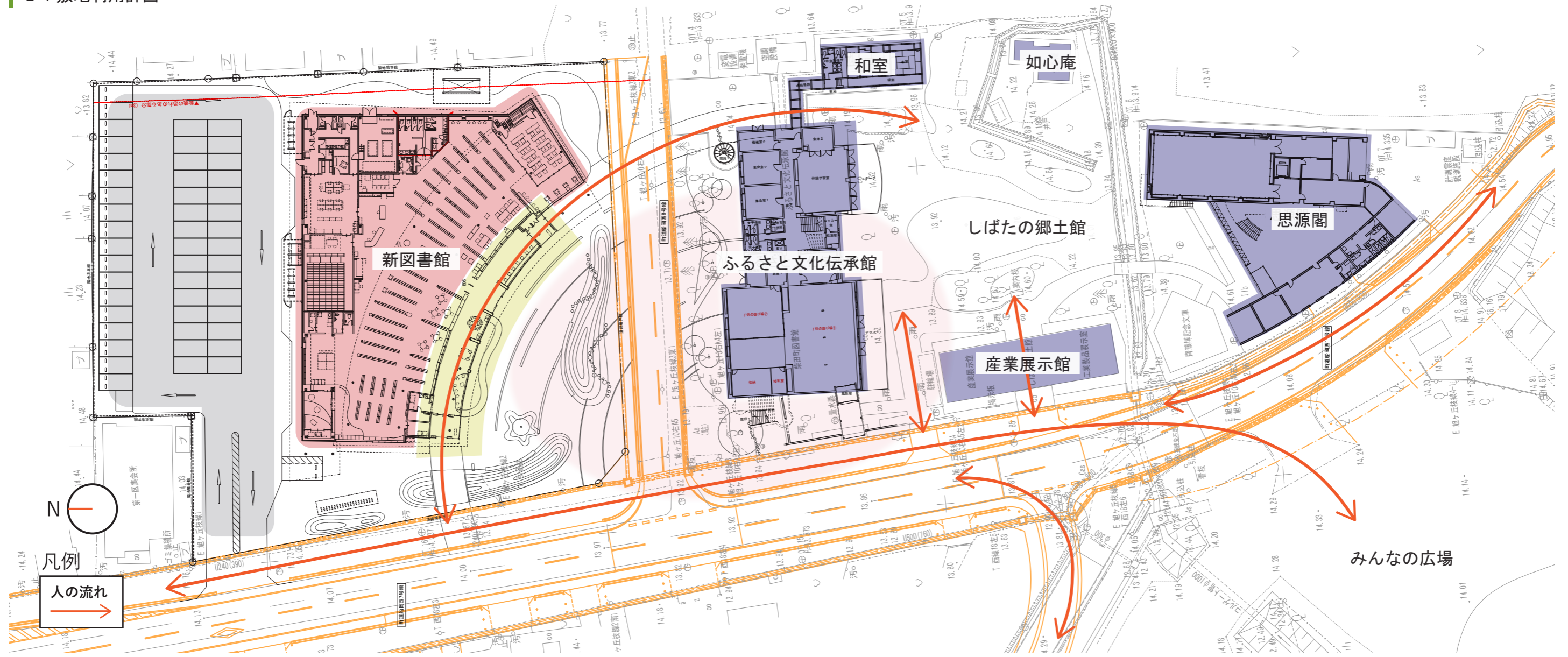
建物概要

用途	図書館
構造種別	鉄骨造（一部木造）
延床面積	1,646.63㎡（容積率 33.81%）※基本設計時の概算値
内部面積	1,512.18㎡ ※基本設計時の概算値
階数	地上1階
耐火性能	準耐火建築物（ロ準耐-1）（任意）
建物高さ	6.20m ※設計GLからの高さ
駐車台数	49台（車椅子駐車場を含む）



南西より見た鳥瞰イメージ

2-1 敷地利用計画



配置図 A3 : 1/600

■建物配置の考え方

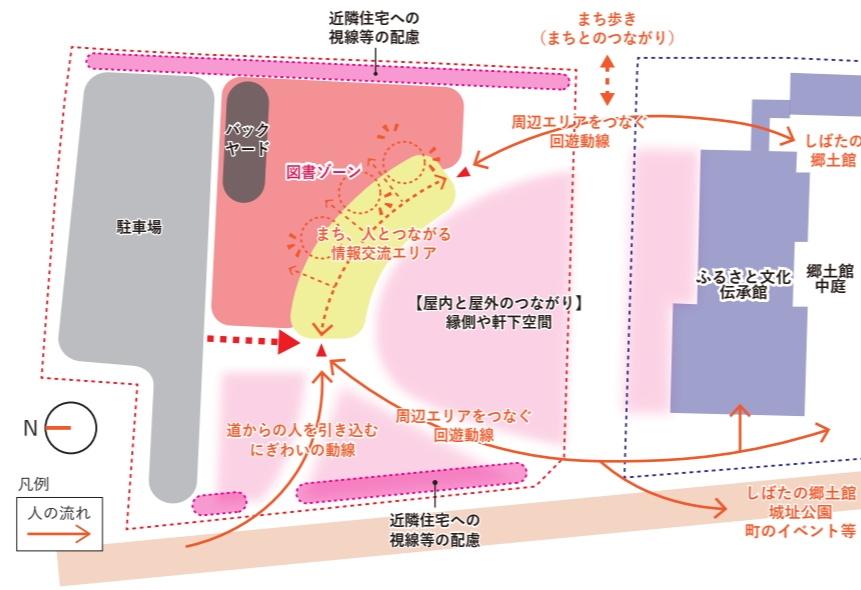
周辺の流れや、しばたの郷土館とのつながり、整備予定の敷地西側・南側の前面道路との関係性を考慮して、屋外で活動できる空間を敷地南西側に設けます。

■駐車場配置の考え方

新図書館へ車で来館する場合は北側の県道からアクセスする利用者が多く想定し、敷地の北側に駐車場を配置します。日常的な図書館利用者数が増加することや必要な職員数を考慮して、台数は合計で50台程度を確保します。

■動線の考え方

新図書館としばたの郷土館の連携が図りやすいように、両敷地をつなぐ回遊動線を設けます。この回遊動線は、新たに整備される城址公園広場や柴田町内のまち歩きルートともつながり、まちへの人の流れをつくります。



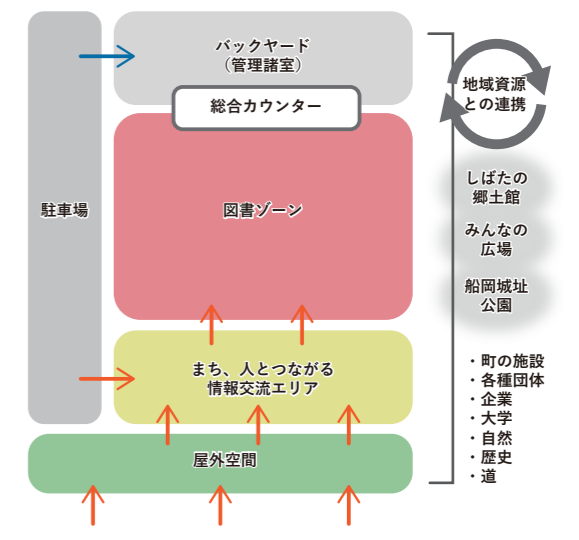
エリア全体におけるゾーニング計画

■施設構成の考え方

・周辺エリアをつなぐ回遊動線上に「情報交流エリア」を整備し、地域の様々な活動を誘発し、施設を訪れるきっかけや、町民同士のコミュニケーションや交流の場となるエリアとします。また、情報交流エリアを訪れた人が図書館や本への興味を持つことができる場となるよう計画します。

・「情報交流エリア」から連続するように、「図書ゾーン」を整備します。また、屋外とつながる開放的な空間や、落ち着いた居心地の良い空間など、様々な読書空間を整備します。

・本を通じて子どもの成長をサポートする役割や、町の歴史・郷土を学びアピールする役割、まちづくり活動等を支援する役割を担うために、必要な諸室を整備します。



施設の構成イメージ

2-2 配置平面計画 - ゾーニング計画

① 風除室（エントランス）

エリアをつなぐ回遊動線を結ぶように風除室を2カ所設置します。町道からも視認しやすく、しばたの郷土館へのアクセスにもつながりやすい動線をつくります。

② 情報交流エリア

図書ゾーンに向かって歩くにつれて利用者が様々な情報を得ることができ、また交流・情報発信のできる場をエリアをつなぐ回遊動線上に計画します。またエリアの中央にBDSを設置し、自然と図書ゾーンにも訪れてもらえるような動線を計画します。

③ 雑誌・新聞エリア

一般開架エリアと児童開架エリアの境に配置し、アクセス性が良く、誰もが気軽に雑誌・新聞を手に取りやすい配置とします。

④ ⑤ 児童開架エリア・一般開架エリア

児童開架エリアと一般開架エリアは東西でゾーニングを分け、小さな子どもを連れた方でも気兼ねなく本を楽しんでもらえるように配置します。書架の高さは視線が抜けやすい背の低い本棚を採用します。

⑥ ⑦ 総合カウンター・事務室・管理室

BDSの正面に配置し、図書館職員が来館者や施設の全体を見渡しやすい位置に配置します。また事務室と隣接させることで管理動線にも配慮した計画とします。総合カウンターや事務室のどちらからも閉架書庫へアクセスしやすい計画とします。

⑧ 学習室・研修室

常時は20人程度を想定した学習室として利用でき、研修会などの際は最大50人程度を想定します。一般書エリアの奥に配置し、周辺が静かな音環境となる場所へ配置します。

⑨ 縁側テラス

広場に面してデッキテラスを整備し、屋外でのイベント活動等に活用できる計画とします。

⑩ 屋外広場

子どもたちが屋外で自由に遊び回ることができる築山や、キッチンカーの車両が入構できるスペースを計画します。しばたの郷土館や城址公園との連携を考慮し、敷地南西側に配置します。

⑪ 駐車場スペース

50台程度が駐車できるスペースを、北側の県道からのアクセスを考慮して敷地北側に設けます。

⑫ 車椅子駐車場

雨に濡れずに図書館にアクセスできる位置に、車椅子駐車場を計画します。

⑬ 駐輪場

西側道路からアクセスしやすく視認しやすい位置に駐輪場を計画します。

⑭ 一般車用車寄せ

一度で最大2台分の自動車が利用できる車寄せとし、降りる人が雨に濡れず、エントランスまでアクセスしやすい位置に計画します。

⑮ 搬出入用車寄せ

本の搬出入のしやすさに配慮し、職員用出入口付近に計画します。



2-2 配置平面計画 - 各エリア計画

① 自動販売機コーナー

飲食可能スペース付近に自動販売機を設置できるスペースを計画します。

② 展示コーナー

人の行き来が多いBDS付近に、話題の本等を展示できるコーナーを計画します。

③ 郷土資料・レファレンスコーナー

郷土資料を情報交流エリア側に配置する事で、柴田町に関連する資料に興味を持ってもらいやすい計画とします。

④ 読書コーナー

利用者が広場の景色を眺めながら、ゆったり読書ができる空間を計画します。

⑤ グループ学習・調べ学習スペース

中高生の利用を想定したグループ学習スペースをYA付近に、小学生以下の利用を想定した調べ学習スペースをYA・児童書付近に計画します。

⑥ YAコーナー

多世代が手に取りやすい中央付近に配置します。

⑦ おはなし室

絵本の読み聞かせができる部屋を、小さな子どもが読み聞かせに集中できる環境とするため、天井高が低く落ち着いたスペースとなっている北西部に配置します。室内は段々状の床で読み手に意識が向きやすく読み聞かせのしやすい設えとします。

⑧ 子育て情報コーナー

育児中の保護者のニーズに沿った本を読むことができるスペースとします。また、中央に寝ころび台を設置することや、おはなし室と隣接した配置とすることで、子どもを見守りやすく、落ち着きのあるスペースとします。また一般書を配架する想定のため、児童書エリアとは分けて配置し、子ども連れではない方も立ち寄りやすい配置とします。

⑨ ボランティア室兼対面朗読室

総合カウンター付近に設置し、ボランティアの方と職員の方のやりとりがしやすい配置とします。

⑩ 閉架書庫

事務室・管理室や総合カウンターと連携しやすい位置に計画します。

⑪ 授乳室・子どもトイレ

子ども連れの利用者に配慮し、児童書エリアや子育て情報コーナーと隣接した位置に授乳室や子どもトイレを計画します。

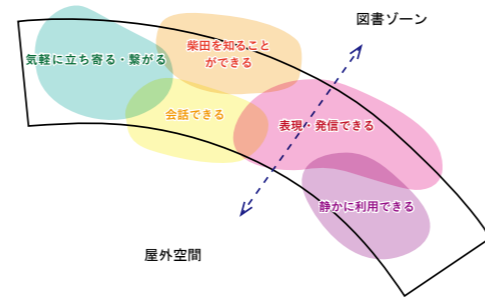


2-2 配置平面計画 - 情報交流エリアについて

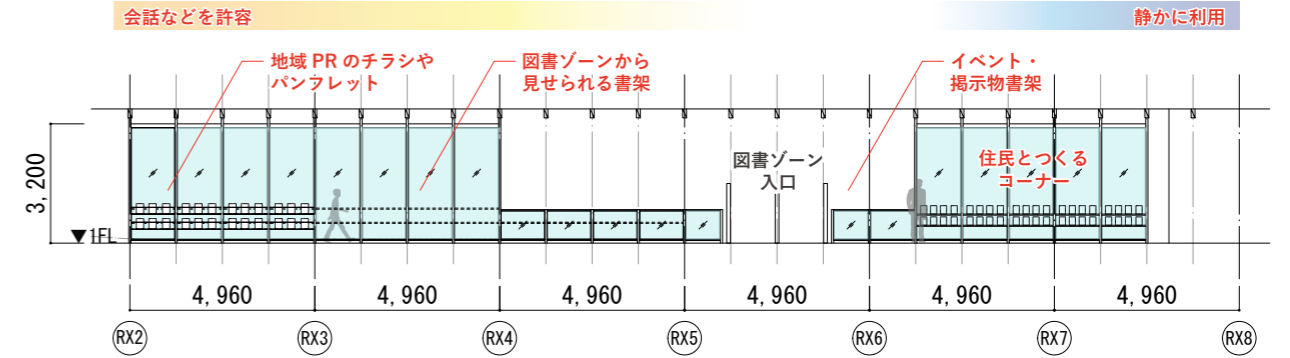
【計画の考え方】

基本計画のWSで町民の方から出されたアイデアを基に、様々な活動や過ごし方のできる場を、エリアをつなぐ回遊動線に沿うように計画します。飲食ができるカジュアルな居場所があれば、地域住民の情報発信ができる場所など、図書館を気軽に訪れるきっかけとなり、多様な活用の仕方ができる場を計画します。

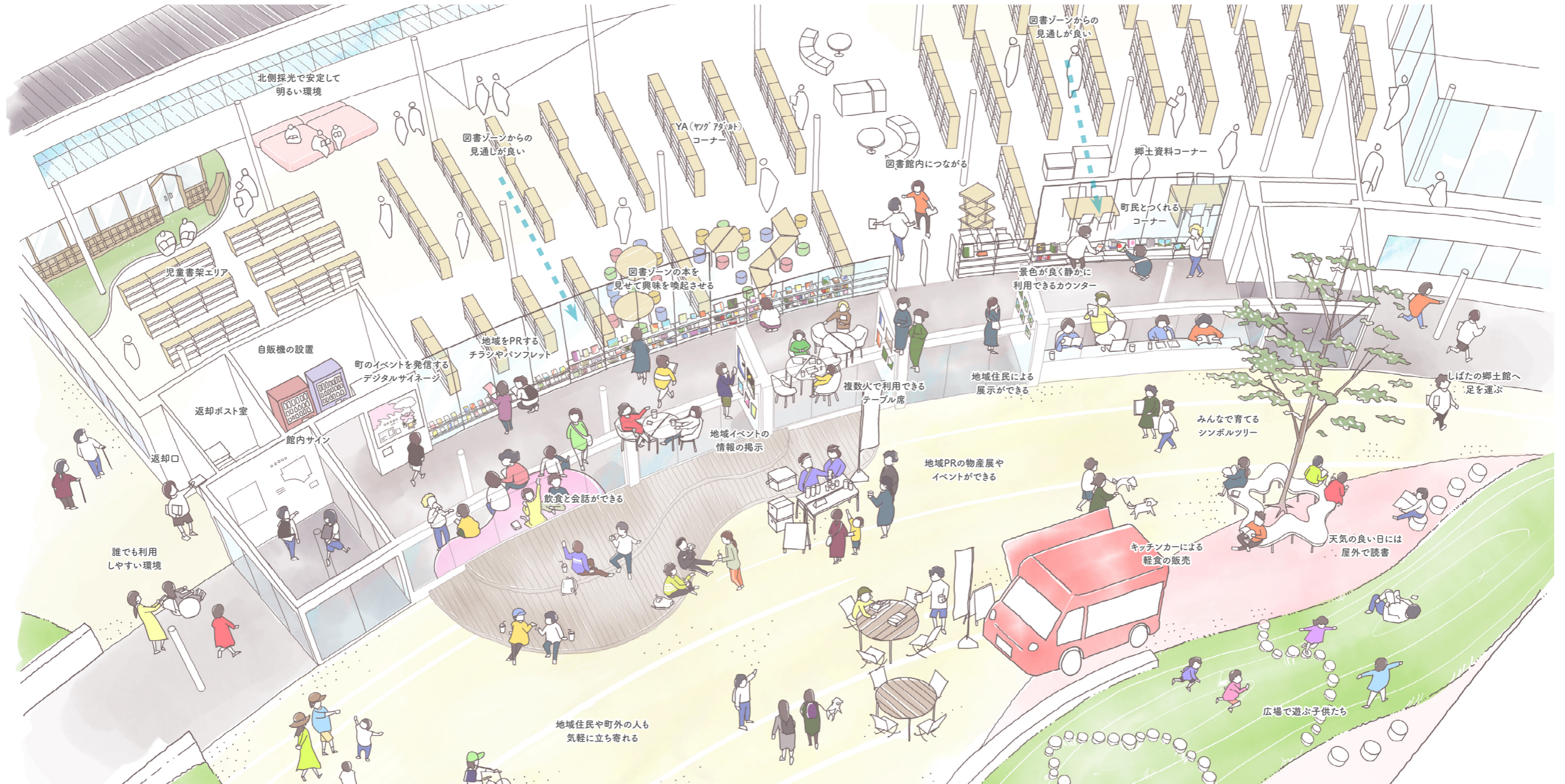
情報交流エリアと図書ゾーンの間には、様々な使い方のできる家具「インターフェイス」を計画します。地域のPRや住民活動の発信ができる設えや、本や図書館への興味を喚起するテーマ展示棚など、回遊動線に沿って歩くにつれて、柴田町や図書館の様々な情報が得られる場所を計画します。



情報交流エリアのゾーニング



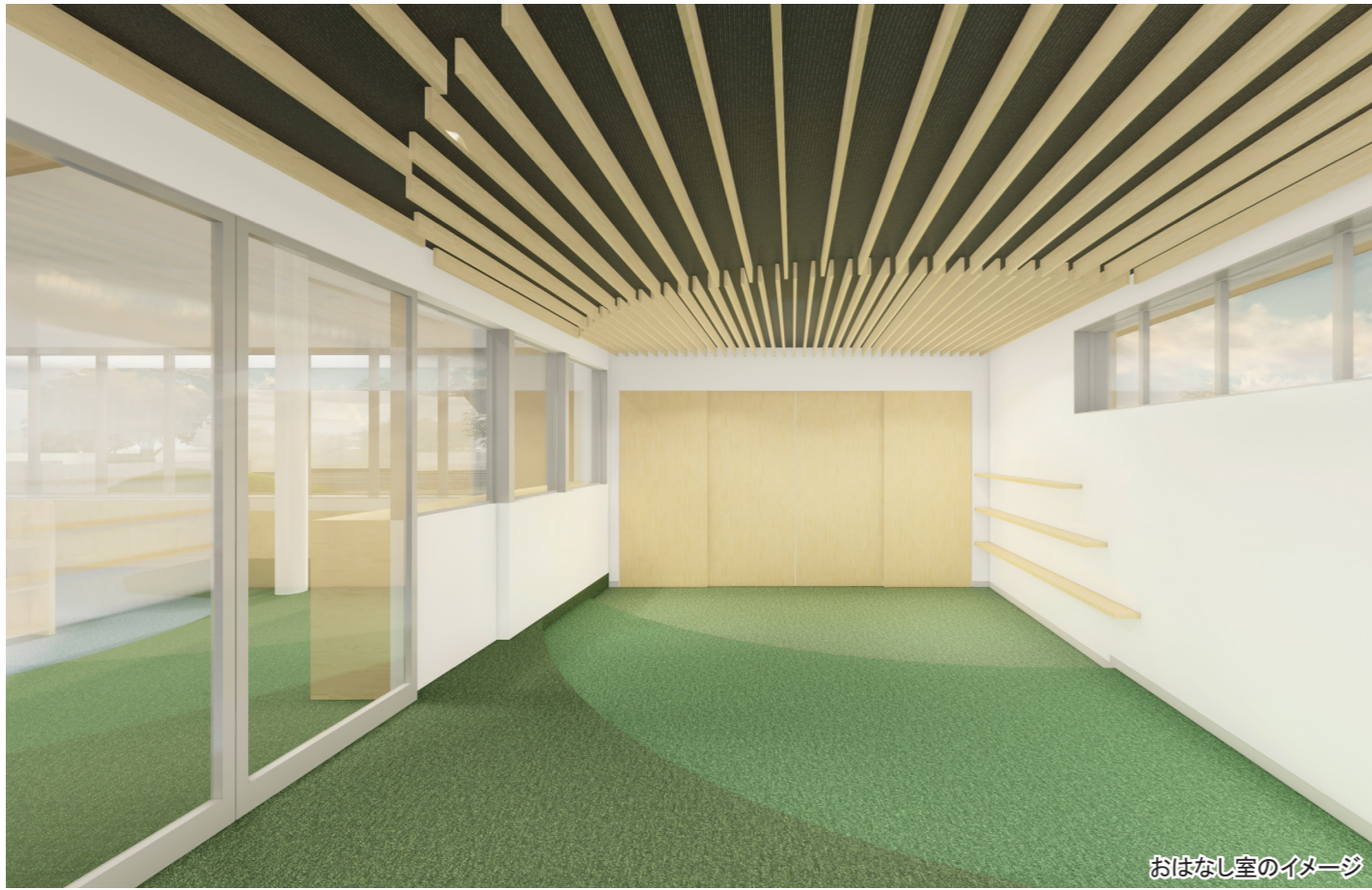
インターフェイス 展開図 A3 : 1/100



WSの意見を踏まえた情報交流エリアの使い方イメージ



総合カウンターから屋外広場の方向を見たパース



おはなし室のイメージ



学習室・研修室のイメージ



郷土資料コーナーのイメージ



読書コーナーのイメージ